

牛久：学校周辺に見る自然

第3号 ひたち野西近隣公園

2015年10月20日発行

＜動物のすみかをしらべよう ～秋のみずべ公園 ③待ちぶせや、わなで他の虫を狩る虫たち＞

9月24、29日、ひたち野うしく小3年生とのみずべ公園。テーマは「動物のすみかをしらべよう」。今回は花や実などにくる虫たちを待ちぶせたり、わなをはって狩るカマキリやクモの仲間。



クサギの花で、えものを待ちぶせするオオカマキリ。

アキグミの樹上でナツアカネを狙うオオカマキリ。

葉の臭いとはうって変わって、甘い香りを漂わせるクサギ。スズメガの仲間のホシホウジャクが蜜を吸ってまわるのを観察していたら、なんとなく気配を感じ、よく見るとそこにはオオカマキリがかくれています。オオカマキリは、こんな所にも…。赤とんぼの写真を撮っていたら、やはりなんとなく視線を感じ、見上げるとナツアカネを狙うオオカマキリと目が合いました。ちょっと距離があつてなかなか近づけないようすでしたが、その後どうなったでしょう？狙う方もなかなか大変ですね。



ここにも待ちぶせしているものがいました。分かりますか？花をよ～く見て下さい。ゲンノショウコの花にまぎれて、ハナグモが待ちかまえていました。パッと見ただけでは、気がつかないかもしれませんね。じつは私も、この花の写真を撮っていてその中の一つに違和感を感じ、じっと見たら見えてきたのでした。花に来る虫たちにとっては、どうなのでしょう？

ゲンノショウコの花で、えものを待ちせするハナグモ。



最後に、クサグモとジグモ。クサグモは、生け垣などに棚状の網をはります。ジグモは地中まで続く管状の網をつくり、地上部の袋の上をえものが歩くと袋ごとにかみついで、袋が破れるのもかまわずに中に引きこみます。地上部をつまんでそっと引き上げると、中にすんでいるクモを簡単に捕まえることができます。【理科支援員：宮内】刈りこんだイヌツゲに張られた棚状の網と、中に隠れるクサグモ(左上下)。木の根もとにつくられたジグモの巣(右)。地下部にも同じくらいの長さで続く。